

Tuuli

トゥーリ

2016年11月15日発行

今年の東京地方の紅葉の見ごろは例年通り11月中旬過ぎごろだそうです。けやき広場の木々の葉っぱも赤や黄色に色づき始めています。

季節が進むのと同時に新施設至誠ホームアウリンコの建設も進んでいます。現在の至誠特養は150人の定員ですが、住環境の改善のため、アウリンコの開設に伴い、4人部屋を2人部屋にする工事を順次行うことになっています。錦特養の工事や定員減に伴い、ボランティア活動も見直しを検討中です。わかり次第、Tuuliでもお知らせいたします。今後も引き続きご支援いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

配食ボランティア交流会のお知らせ



至誠ホームでは地域を支える自主事業として、ホームで調理された温かいお弁当を一日50食を上限とし、近隣の地域の高齢の方々にお届けしています。至誠ホームの入居者の方々の食事と同じメニューをお届けしていますので、栄養バランスのとれたおいしい食事ができると喜んでいただいています。

昭和53年に給食事業を開始して以来、このように長きにわたって、地域の方々に温かく、おいしいお弁当をお届けできているのは、そのお弁当をお届けいただいているボランティアの皆様のご協力があってこそ、皆様には心より感謝しております。

今年は、少し趣向を変えて、配食に関わってくださっているボランティアさんと担当職員との食事会を計画いたしました。おいしいお食事とボランティアさん同士や職員との楽しい会話でゆったりとしたひと時をお過ごしいただければと思います。どうぞご参加ください。

- ▶ 日 時：12月14日（水） 11：30（現地集合）～13：00（現地解散）
- ▶ 場 所：レストラン シェ いなば
住所：立川市錦町5丁目19-9-A
電話：042-529-5921
- ▶ 参加費：500円（500円を添えてお申し込みください。）
- ▶ お申込み：ボランティアコーナーまで



秋の火災予防運動で表彰されました！

この度至誠ホームでは、「防火管理が適切で他の模範と認められる防火管理者」として金井事務局長が東京消防庁立川消防所長より、表彰状をいただきました。

このように至誠ホームは、積極的に防火・防災に努めています。

災害は起こらないのが一番ですが、万が一のために日ごろからの取り組みが重要となります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel：042-527-0035 Fax：042-527-2646
E-mail：shisei-volunteer@shisei.or.jp HP：<http://www.shisei.or.jp>



第3回 K U K K A ♡ はな ♡ コンサート 送迎ボランティア募集



今年3月の第2回のコンサートに続いて第3回のコンサートが行われます。演奏者は駒ヶ嶺ゆかりさんと水月恵美子さんです。

前回同様、駒ヶ嶺さんは前日東京都内でコンサートがあるために札幌から東京にいらっしゃるのに時を合わせて、至誠ホームにもお越しくださいます。

ピアノの水月恵美子さんとお二人が日本の歌と、そして来月のクリスマスに先駆けてフィンランドのクリスマスソングをうたってくださいます。

ボランティアの皆様には送迎のお手伝いとお年寄りの見守りをお願いいたします。どうぞ皆様も一緒に素晴らしい歌声とピアノをお楽しみください。

◆日時：11月28日（月）13時30分送迎開始～15時30分送迎終了

◆場所：錦特養センター2階ホール

※お手伝いいただける方は事前にボランティアコーナーまでお知らせください。



お餅つきボランティアさん募集のお知らせ



利用者の皆さんが楽しみにしておられる恒例のお餅つきが今年も行われます。つき手と返し手の見事な呼吸で、次々お餅がつきあがります。それを小さくちぎって、見守りながらお年寄りに食べていただきます。どうぞボランティアの皆様も一緒につきたてのお餅をお楽しみください。

◆日時：12月2日（金）9：50～12：00

◆場所：けやき広場

◆募集：①餅のつき手（2名） ②餅の返し手（3名）③餅の運び手（5名）
④利用者の送迎・誘導等（10名）

※ちぎり手として和光の利用者の皆さんがお手伝いくださいます。

特養各フロアの利用者のみなさんが楽しみになさっています。どうぞ送迎と見守りにもお力をお貸しください。



フィンランドからの研修生のアイヤさんをご紹介します。



ボランティアの皆さんも、もうすでにどこかでお会いいただいたこともあるかと思います。本年度のフィンランドからの研修生のアイヤ・ハルユさんです。アイヤさんは10月28日～11月16日まで至誠ホームで研修を受けられました。フィンランドのパキラホームではショートステイユニットでラヒホイタヤ（実践看護師）として働いていらっしゃいます。帰国前に日本での研修の感想などを伺いました。

「一番印象に残ったことは日本は緑が豊かだということです。そして人々はとても礼儀正しいということです。職員さんたちも常に笑顔でお年寄りを尊敬して接しています。

錦特養で研修をして、とても感心したことがあります。それはいろいろな職種の人々がチームでお年寄りのケアにあたっていることです。たとえばアクティビティの職員がフロアに行ったり、支援室からも職員が出たり、またご家族やボランティアさんも多いことにびっくりしました。

文化といえば、日本はお風呂でフィンランドはサウナという文化の違いがあります。フィンランドは週に1度、ゆっくり時間をかけて1対1でサウナに入ります。豊かな時間を持ちたいと考えているからです。サウナの日以外はシャワーを使って清浄を保ちます。

フィンランドの人々は平均8年くらいで職業を変えます。日本は長い期間一人のお年寄りを見てくれる人や施設が同じでその人を良くわかったケアができています。」

最後にアドバイスがあれば伺いました。「フィンランドでは介護者の体を壊さないように、補助をする機械を使います。介護にあたる方々はご自分の体をどうぞ大切にしてください！」